



校長室通信



No.7

R2. 5. 1

臨時休校延長！

昨日4月30日(木)、18時から県知事が記者会見し、県立学校の臨時休校期間が、5月31日(日)までの延長が発表されました。県として地域全体での活動の自粛を強く要請していること、県内で新型コロナウイルス感染症の陽性患者の発生が続いていることが主な理由です。児童生徒の皆さん、そして保護者の皆様には、度重なる休校の延長、長期にわたる休校措置に対し、多大なご不便とご負担をおかけしていますこと申し訳なく思います。一日も早く学校が再開できますよう、ご理解、ご協力を引き続きお願いいたします。また、この間の学習保障については、ご家庭と連携するとともに夏休み期間を活用して行っていくことを考えています。

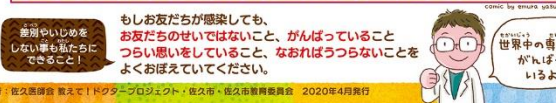
また、休校中のお子様の健康状態等について、電話等で確認をさせていただきますのでよろしくお願いします。



新型コロナウイルスへの対応について、長野県佐久市と坂本昌彦医師(佐久総合病院佐久医療センター小児科)らが作ったチラシ「教えて!ドクター」などのサイトからダウンロードできます。子ども向けに注意点をわかりやすく書かれています。参考にしてください。

新型コロナウイルス げき退作戦!

新型コロナウイルスを
広げないためには
みんなで力を合わせる
ことが必要!!



発行：佐久県教育委員会「教えて!ドクター」プロジェクト、佐久市・佐久市教育委員会 2020年4月発行
<https://oshiete-dr.net/2020/04/02/post-500/>

～創立30周年を迎えて～
たちばな

思い出のアルバム③「校名誕生物語」

本校の学校名「たちばな」は、県教育委員会が平成2年9月4日～10月20日の期間、県内から校名を募り、応募者数391人、191校名の中から選定委員会で5候補名(たちばな・いなむら・ひろかわ・なぎ・きのさと)を予選し、同年11月2日、県教育委員会で最終決定されました。当時の新聞報道では、「たちばな」に決めた理由として、「有田・日高は柑橘栽培の盛んな地方であり、橘はミカンの古名として広く親しまれている。実の香はもちろん、花の香も甘く、中紀地方に豊かな実りをもたらしている。心身に障害のある子どもたちが、ミカンのようにすくすくと成長発達することを願って」としています。命名者は小学校教諭 平尾容子さん(由良町里)のほか、龍田真理子さん(中津村(現日高川町)田尻)、荒木ちず子さん(由良町大引)ら17人と報道されています。私たち自身にもそれぞれ名前があります。それぞれの名前には、その名前を考えた人の思いや願いが込められています。私たちの学校の名前「たちばな」に込められた思いや願いをこの機会に共有し、お互い力を合わせてその思いや願いが実現できるようにしたいものです。

学校近くの交差点から見える旧校名石板です。
現校名看板は、この石板の上部に取り付けられています。

